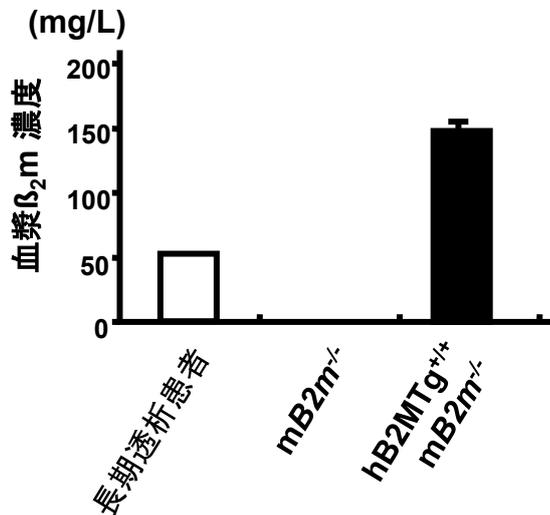


# h $\beta$ 2m トランスジェニックマウスのアミロイド沈着 h $\beta$ 2M線維投与はアミロイド沈着を促進しない？

研究分担者： 信州大学医学系研究科加齢適応医科学系 樋口京一

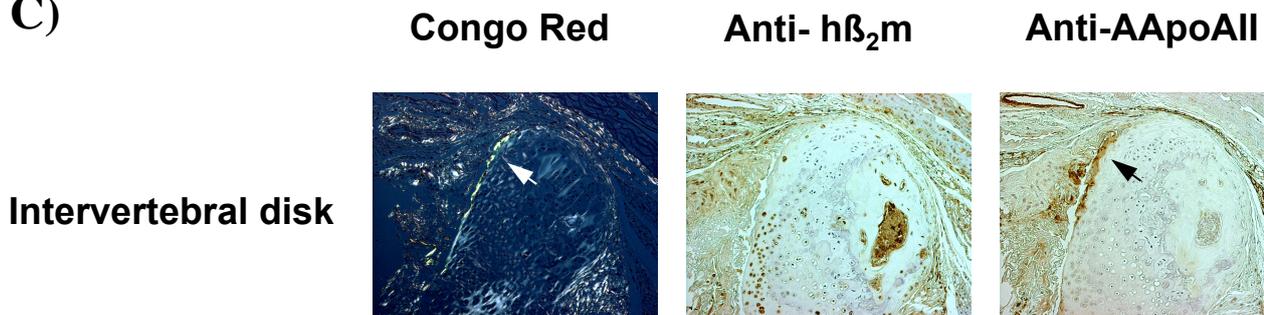
A)



B)

	投与線維	月齢	A $\beta$ <sub>2</sub> M	AApoAII
I	無し	24~	-	+
II	試験管形成 A $\beta$ <sub>2</sub> M	25~	-	+
III	患者組織 A $\beta$ <sub>2</sub> M	8~	-	+
IV	マウス AApoAII	8~	-	+

C)



## 解 説

1. 作製したヒト $\beta$ 2microglobulin transgenic マウス (hB2MTg<sup>+/+</sup>mB2m<sup>-/-</sup>)の血漿 $\beta$ 2m濃度は148mg/Lで透析患者の約3倍であった。A)
3. Tgマウスの各種アミロイド線維 (試験管形成A $\beta$ 2M、患者組織 A $\beta$ 2M、マウスAApoAII)投与後のアミロイド沈着を調べたが、A $\beta$ 2Mの沈着は認められず、AApoAIIの沈着が観察された。B,C)
4. 透析アミロイドーシスの発症にはSeeding以外の要因が必要と考えられ、今後モデル動物の開発には更なる工夫が必要である。